

レッツ原価管理

Go2

インストールマニュアル
ネットワーク版

LET'S

目次

第1章 インストールの前に

- 1 レッツ原価管理Go2をインストールする前の確認事項 1-2
- 2 運用形態の確認 1-2
- 3 必要システム要件の確認 1-3
- 4 データベース環境の確認 1-4
 - 1 データベースについて 1-4
 - 2 既に SQL Server がインストールされている場合 1-4
- 5 ネットワーク環境の確認 1-5
 - 1 ネットワーク(LAN)環境 1-5
 - 2 ネットワーク(WAN)環境 1-5
- 6 その他 1-5

第2章 サーバーのセットアップ

- 1 インストール前の確認事項 2-2
- 2 SQL Serverのインストール 2-3
- 3 ライセンス認証 2-6
- 4 Windows ファイアウォールの設定 2-8
- 5 サーバーヘユーザの追加 2-11

第3章 クライアントのセットアップ

- 1 インストール前の確認事項 3-2
- 2 レッツ原価管理Go2のインストール 3-3
- 3 バックアップ 3-8

第4章 レッツ原価管理Go!からの移行

- 1 移行の流れ 4-2
- 2 データコンバート 4-2
- 3 データコンバート後の設定と確認 4-4

第5章 補足

- 1 クライアントの追加 5-2
- 2 クライアントの変更 5-2
- 3 サーバーコンピューターの変更 5-2
- 4 SQL Serverエディションの変更 5-3
- 5 アンインストール 5-4
- 6 個人設定保存／個人設定読込 5-10

第6章 トラブルシューティング

- 1 インストール前のトラブル 6-2
- 2 サーバーのセットアップ時のトラブル 6-3
- 3 クライアントのセットアップ時のトラブル 6-5

- 本書では、レッツ原価管理Go2のインストール方法についてのみ解説しております。機能および基本的な操作方法につきましては、「レッツ原価管理Go2操作マニュアル」でご確認ください。
- 本書の内容に関しては、訂正・改善のため、予告なしに変更することがあります。
- Windows は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他、記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。

第1章 インストールの前に

1 レッツ原価管理Go2をインストールする前の確認事項

1 運用形態の確認

クライアント・サーバー型LAN / サーバー兼クライアント型LAN / WAN

2 必要システム要件の確認

サーバーコンピューター・クライアントコンピューター・必須ソフトウェア

3 データベース環境の確認

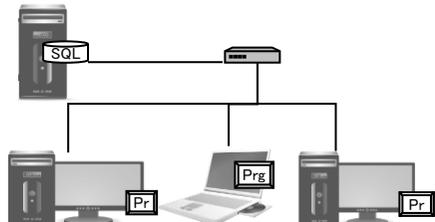
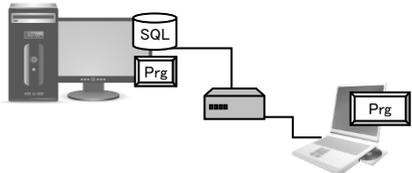
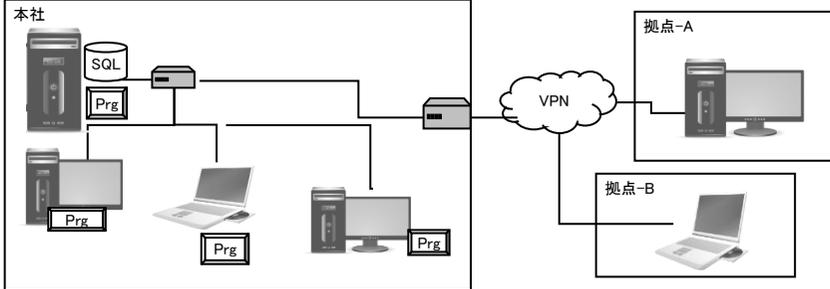
使用するSQL Serverのエディション

4 ネットワーク環境の確認

2 運用形態の確認

運用形態は、大きく3タイプに分けられます。

クライアント台数や使用する場所などにより運用形態を決定します。

<p>クライアント・サーバー型LAN サーバーコンピューターにSQL Serverをインストール、クライアントコンピューターにレッツ原価管理Go2プログラムをインストールし、複数人で同時使用できます。</p> 	<p>サーバー兼クライアント型LAN サーバーコンピューターを設置せず、LAN上のコンピューター1台にSQL Serverとレッツ原価管理Go2プログラムをインストール、クライアントコンピューターにはレッツ原価管理Go2プログラムをインストールし、2台で同時使用できます。</p> 
<p>WAN 遠隔地のクライアントより、レッツ原価管理Go2を使用する場合の形態です。サーバーコンピューターにリモートデスクトップサービス、SQL Server、レッツ原価管理Go2プログラムをインストールします。</p>  <p>セットアップ方法は別冊「WAN環境で使用する場合のセットアップ」を併せてご確認ください。</p>	

インストールの前に

3 必要システム要件の確認

	サーバー	クライアントおよびサーバー兼クライアント
OS	Windows Server 2022 Windows Server 2019 Windows Server 2016 日本語OS64ビット版(x64)	Windows 11 Windows 10 クライアントの場合 日本語OS64ビット版(x64) 日本語OS32ビット版(x86) サーバー兼クライアントの場合 日本語OS64ビット版(x64)
	・64ビットOSでは、WOW64の環境で動作します。	
メモリ	4GB 以上	4GB 以上
ハードディスク	インストール時、最大約1GB 別途 データ領域必要	インストール時、最大約1.4GB サーバー兼クライアントの場合は 別途データ領域必要(サーバーに準ずる)
CPU	インテルXeon Eプロセッサ以上 または同等の互換プロセッサ	インテルCore i3プロセッサ以上 (推奨:インテルCore i5プロセッサ以上) または同等の互換プロセッサ
ディスプレイ	本体に接続可能で上記OSに対応したモニター 解像度1024×768 以上 High Color(16ビット)以上推奨	
ディスクドライブ	インストール時DVD-ROMドライブが必要	
プリンター	上記OSに対応した、A4用紙が使用可能なプリンター プリンタードライバ上またはOS上の設定で余白の範囲を11mm以下まで指定できるプリンター ※プリンタードライバについては、上記OSに対応したメーカーから提供されているドライバーをご使用ください。	
データベース	Microsoft SQL Server 2019 ※本製品は、SQL Server 2019 Express Edition を同梱していますが、上位エディションをご使用いただくことも可能です。 上位エディションをご使用いただく場合は別途ご用意してください。その場合SQL Serverのライセンスが別途必要です。 ※20クライアントを超える場合、SQL Server 2019 上位エディションの使用を推奨いたします。 ※SQL Server 2019 Express Editionでは1データベース領域(会社ファイル)として最大10GBまで使用可能です。 ※SQL Server 6.5/SQL Server 7.0および、これらのSQL Server互換のMSDEがインストールされている環境にはインストールできません。	
動作に必要なソフトウェア	本製品の動作には、Microsoft .NET Framework 4.8が必要です。 ※インストール済みでない場合は本製品のインストール時に同時にインストールされます。インストール時に再起動が必要になる場合があります。	
Excelクリエートを利用する場合	Microsoft Excel 2010以降が別途必要です。 ※ストアアプリ版のMicrosoft Excelではご利用いただけません。 ※リモートデスクトップサービス環境でお使いいただく場合、別途サーバー用のExcelライセンスが必要です。	
LAN環境	<ul style="list-style-type: none"> ・有線LAN(100Mbps以上)を推奨 ・クライアント-サーバー間のPing応答が1ms以下で安定していることをご確認ください。 ・クライアントとサーバーは同一セグメントにしてください。 ・リモートデスクトップサービス上で使用する場合は、別途 リモートデスクトップ サービス クライアント アクセス ライセンス が必要です。 ・Microsoft Excel,Microsoft Outlookをリモートデスクトップサービス上で使用する場合は、サーバーにインストールする必要があります。その場合使用クライアント数分のオープンライセンスが必要です。 ・リモートデスクトップサービス上で印刷をおこなう場合は、リモートデスクトップサーバーより印刷可能なプリンターを指定してください。 	
ご注意	<ul style="list-style-type: none"> ※快適にご利用いただくために、より高スペックのCPUを搭載したコンピューター、ならびにより多くのメモリ搭載をおすすめします。 ※処理中に、Windowsがスタンバイモード・休止モード・スリープモードに移行すると、エラーが発生する場合があります。Windowsがスタンバイモード・休止モード・スリープモードに移行する前に、レッツ原価管理Go2を終了してください。 ※Microsoft社のサポート保証期間が終了しているOSについては正常に動作しない可能性がありますので、保証期間の終了していないOSでの運用をおすすめします。 ※Microsoft SQL Server および弊社アプリケーション使用領域(バックアップ含む)は、圧縮フォルダーでの運用をサポートしておりません。 ・タッチ操作やソフトウェアキーボードによる操作は動作保証外です。 ・BaiduIMEには対応しておりません。 ・OSの「日付と時刻」の設定を変更している場合、レッツ原価管理Go2が正常に動作しない場合があります。初期設定のままご利用ください。 	

4 データベース環境の確認

1 データベースについて

レッツ原価管理Go2のデータはSQL Server 2019を使用します。

会社データは指定したインスタンス名の領域に作成されます(既定『LETS』)

本製品のDVD-ROMには、SQL Server 2019 Express Editionが同梱されています。

※ SQL Server 2019 Express Editionではデータ領域は1会社ファイルにつき最大10GBまでです。

※ 20クライアントを超える場合は、SQL Server 2019 上位エディションの使用を推奨します。

2 既にSQL Serverがインストールされている場合

既にSQL Serverがインストールされているコンピュータにレッツ原価管理Go2のDVD-ROMよりデータベースをインストールしようとする次のようになります。

インストール済の環境	動作
SQL Server 2019	SQL Server 2019 Expressのインスタンス作成が行われます。
SQL Server 2017	Windows Server 2022、Windows Server 2019、 Windows Server 2016、Windows 11、 Windows 10の場合は、SQL Server 2019 Expressの インストールとインスタンス作成が行われます。
SQL Server 2014	
SQL Server 2012 R2	
SQL Server 2012	
SQL Server 2008 R2	
SQL Server 2008	

5 ネットワーク環境の確認

1 ネットワーク(LAN)環境

LAN(ネットワーク)が正常に動作しているかを確認してください。
各クライアントコンピューターの「ネットワーク」を開き、サーバーコンピューターが表示されていて、ログオンが可能であることを確認します。
TCP / IP V4が動作しているか確認してください。

通信速度

100BASE-T以上

無線LANは、ネットワークの接続が不安定で、データ破損の原因となる場合があります。
有線LANでご使用ください。

ルーターでの接続

同一のルーターに接続されているコンピューター間で使用してください。

省電力の設定

レッツ原価管理Go2の起動中に、「スリープ」や「スタンバイ」などの省電力モードにならないように設定してください。

その他の注意点

サーバーコンピューターとクライアントコンピューターのコンピューター名を同名にしないでください。サーバーコンピューターとクライアントコンピューター間で、PINGコマンドを実行した際、正しく動作することを確認してください。(timelは1ms以下で安定していること)

2 ネットワーク(WAN)環境

リモートデスクトップサービスが必要です。

・リモートデスクトップサーバー機のメモリ容量の目安

OSが要求する容量(3GB) + (推定同時使用クライアント数×400MB)

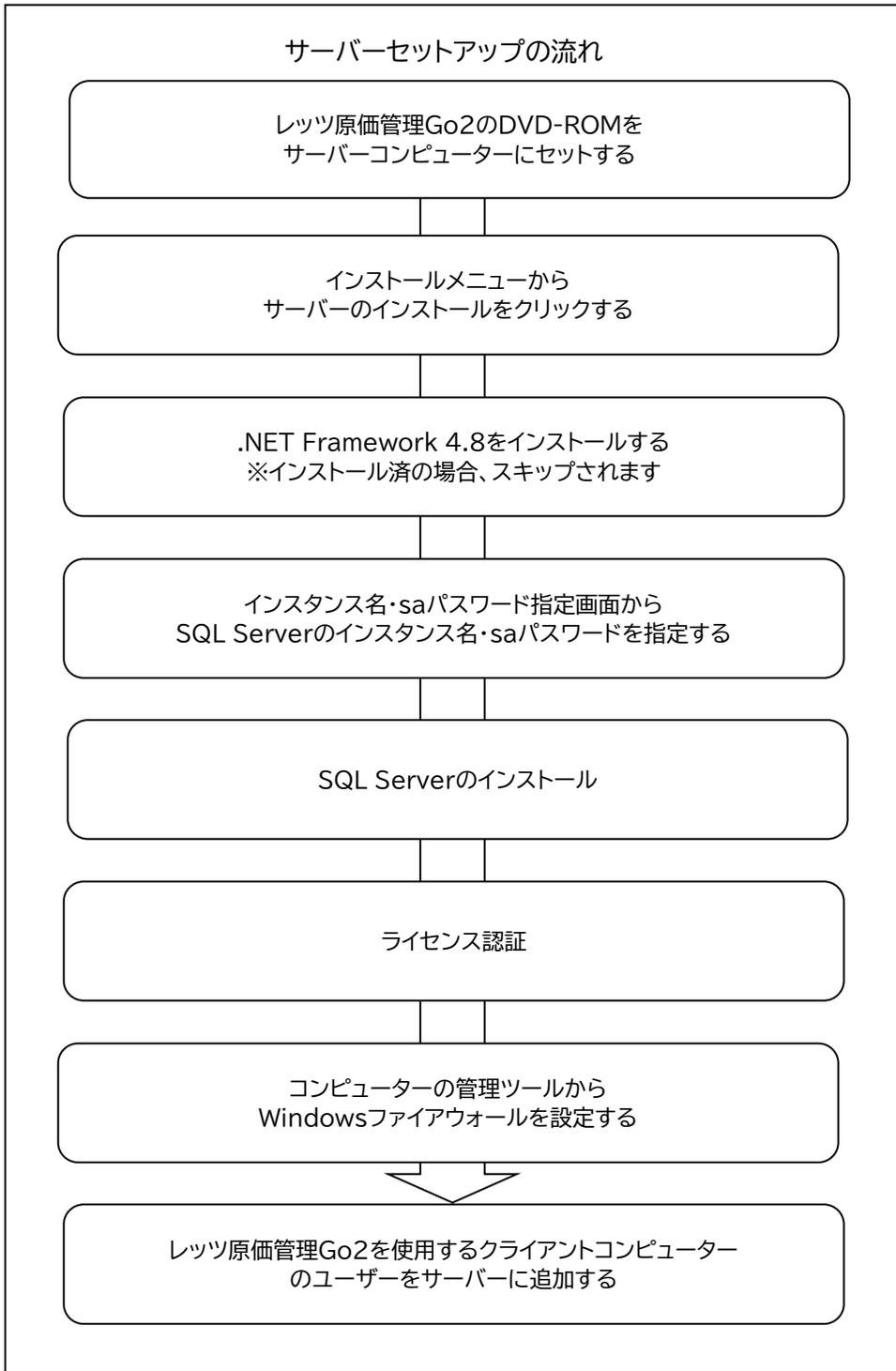
セットアップ方法は、別冊「WAN環境で使用する場合のセットアップ」を参照してください。

6 その他

その他のアプリケーションの停止

インストールするコンピューターで他のアプリケーションが起動していないことを確認してください。(ディスクメンテナンス、常駐セキュリティソフトも含む。セキュリティソフトの機能によりインストールが正常に行われられない可能性があります)

第2章 サーバーのセットアップ



1 インストール前の確認事項

1 ハードディスクの空き容量

インストール時には、ハードディスクの空き容量が1GB以上必要です。
別途、データ領域として同一コンピューター上に別途10GB以上の空き領域が必要です。

2 ネットワーク

ネットワーク環境を確認してください。
⇒ 1-5 インストールの前に 5.ネットワーク環境の確認

3 インストールするユーザーの権限

管理者権限を持っているユーザーでインストールしてください。

4 データベースのインストール先

インストール先のドライブまたはフォルダーが、読み取り専用や暗号化、圧縮されていないことを確認してください。

5 コンピューター名

インストール後はコンピューター名を変更できません。
正しいコンピューター名になっているか確認してから、インストールしてください。

【確認】

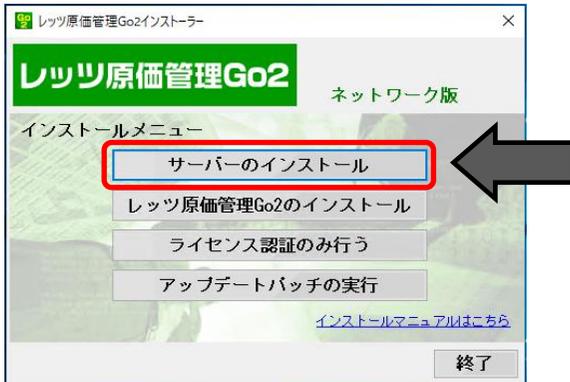
既にご購入済みのSQL Serverの上位エディションをご利用いただくことが可能です。
(マニュアル:<DVD-ROM>¥Documents¥SQL Server設定マニュアル¥レッツ原価管理Go2SQL Server設定マニュアル.pdf)
その場合、先上記マニュアルに従い SQL Serverのインストールを行ってください。
その後、当マニュアルの 2-5. 6.SQL Serverのインスタンス名・saパスワード指定画面で、別紙SQL Server設定マニュアルP.4 8で設定したインスタンス名とP.4 9で設定したsaパスワードを指定してください。

【WAN環境で使用する場合】

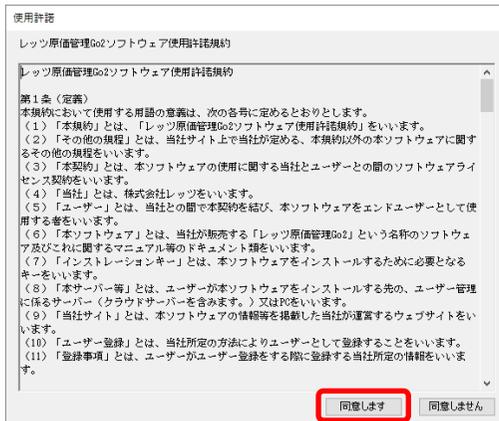
セットアップ方法は別冊「WAN環境で使用する場合のセットアップ」を併せてご確認ください。

2 SQL Server のインストール

- 1 レッツ原価管理Go2のDVD-ROMをサーバーコンピュータにセットします。
インストール画面が表示されます。
⇒ 6-2トラブルシューティング 1 インストーラーが自動的に起動しない
- 2 「サーバーのインストール」をクリックします。

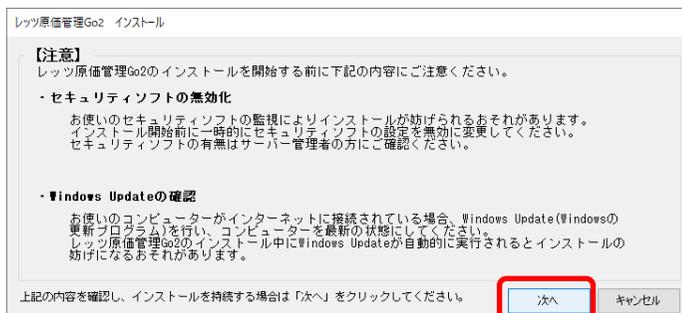


- 3 レッツ原価管理Go2の使用許諾規約画面が表示されます。
使用許諾規約内容を読み、同意いただける場合は「同意します」をクリックします。



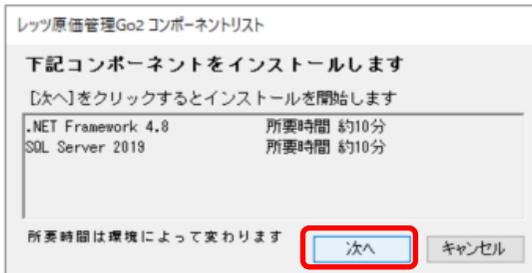
※同意しない場合、インストールはできません

- 4 インストール開始前の注意メッセージが表示されます。
セキュリティソフトの無効化、Windows Updateの確認を行い「次へ」をクリックします。



サーバーのセットアップ

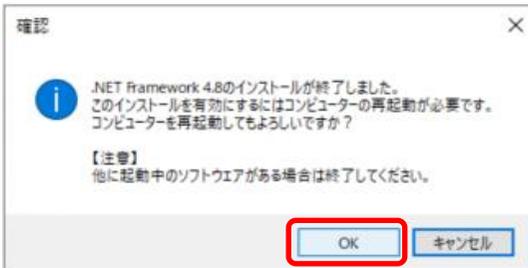
- 5 インストールされるコンポーネントのリストが表示されます。
内容を確認して「次へ」をクリックします。



.NET Framework 4.8をインストールする場合、インストールが完了するまで10分程度かかる場合があります。

.NET Framework 4.8をインストールした場合、インストール完了後に再起動を求められますので、「OK」をクリックして再起動を行います。

再起動後、エクスプローラーを開き、レッツ原価管理Go2のDVD-ROMをセットしたドライブのアイコンを右クリックして、「開く」をクリックします。
「setup」ファイルをダブルクリックして、再度「サーバーのインストール」を行ってください。



- 6 SQL Server のインスタンス名・saパスワード指定画面が開きます。
インスタンス名・saパスワードを指定後「次へ」をクリックします。

The screenshot shows a window titled 'レッツ原価管理Go2 サーバインストール'. It contains two main sections: 'インスタンス名指定' (Instance Name Specification) and 'saパスワード指定' (sa Password Specification). In the first section, the 'インスタンス名' (Instance Name) field contains 'LETS', and the checkbox '既定のインスタンス名を使用する' (Use default instance name) is checked. A note below says '※通常は既定のインスタンス名『LETS』を指定してください'. In the second section, the 'saパスワード' (sa Password) field contains 'letsadmin-5', and the checkbox '既定のパスワードを使用する' (Use default password) is checked. At the bottom, there is a label 'インスタンス名を指定してください' and two buttons: '次へ' (Next) and 'キャンセル' (Cancel). The '次へ' button is highlighted with a red rectangle.

○レッツ原価管理Go2で使用するインスタンス名を変更したい場合

「既定のインスタンス名を使用する」のチェックをOFFにすると、インスタンス名の入力が可能になります。任意のインスタンス名を入力してください。

※通常はインスタンス名に既定の『LETS』を使用することをお勧めいたします。

- ・インスタンス名はクライアントのインストール時に必要ですのでメモしておきます。
- ・既に存在しているインスタンス名を指定した場合、インスタンスの作成はスキップされます。
【重要】レッツ製品以外で使用しているインスタンス名は指定しないでください。

○レッツ原価管理Go2で使用するsaパスワードを変更したい場合

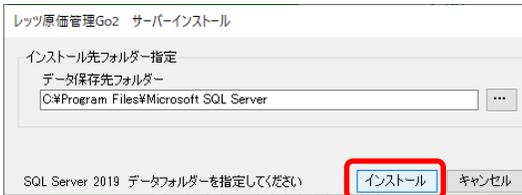
「既定のパスワードを使用する」のチェックをOFFにすると、saパスワードの入力が可能になります。任意のsaパスワードを入力してください。

※通常はsaパスワードに既定の『letsadmin-5』を使用することをお勧めいたします。

- ・任意のsaパスワードを使用する場合、レッツ原価管理Go2のサーバー選択画面>詳細設定画面でsaパスワードを設定する必要がありますので、saパスワードは必ずメモしてください。

サーバーのセットアップ

7 SQL Serverのデータ保存先指定画面が開きます。



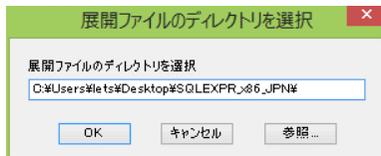
○データの保存先フォルダーを変更したい場合

インストール先フォルダー指定の[...]ボタンをクリックし、データ保存先のフォルダーを指定してください。

- ・インストール先のドライブまたはフォルダーが、読み取り専用や暗号化、圧縮されてないことを確認してください。

上記内容を設定、確認後「インストール」ボタンをクリックしてください。

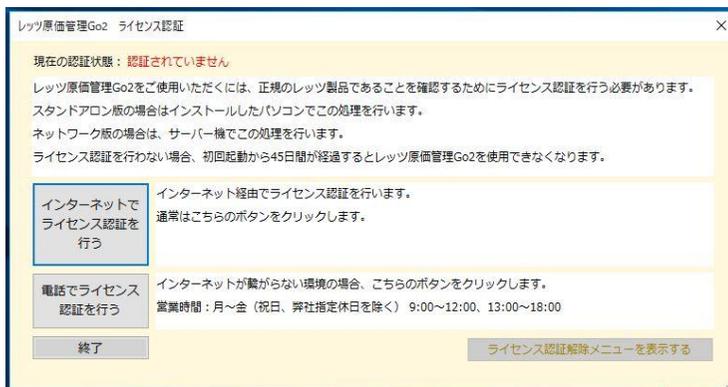
※「インストール」ボタンのクリック後、以下の画面が開く場合があります。その場合は内容を変更せず「OK」ボタンをクリックしてください。



8 インストールが終了すると「レッツ原価管理Go2のサーバーのインストールが完了しました」と表示されます。次にライセンス認証を行います。

3 ライセンス認証

1 SQL Serverのインストールが完了すると下のライセンス認証画面が表示されます。または、レッツ原価管理Go2のDVD-ROMをコンピューターにセットし「ライセンス認証のみ行う」をクリックすると下の画面が表示されます。



「インターネットでライセンス認証を行う」「電話でライセンス認証を行う」のどちらかのボタンをクリックしライセンス認証を行います。

ライセンス認証を行わないと初回起動から45日間が経過すると起動できなくなります。インストール直後に必ず行ってください。

<インターネットでライセンス認証を行う>場合

以下の画面が開きます。

レッツ原価管理Go2DVD-ROMケースのライセンス証に記載されているプロダクトID・シリアルNoを入力し登録ボタンをクリックします。

また、貴社の環境に合わせてプロキシサーバーの設定を行ってください。

<電話でライセンス認証を行う>場合

以下の画面が開きます。

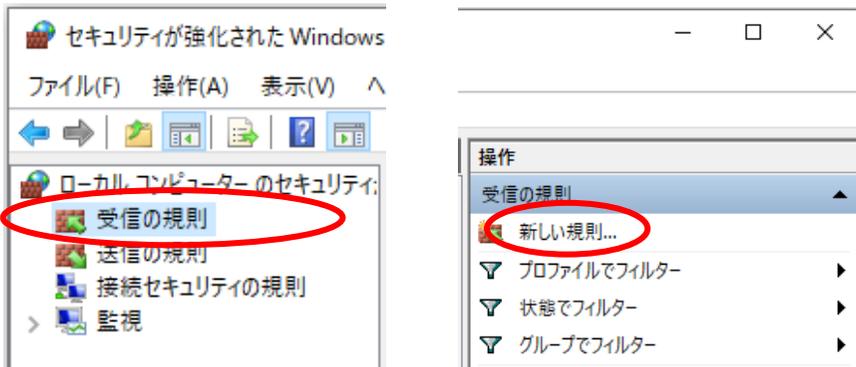
レッツ原価管理Go2DVD-ROMケースのライセンス証に記載されているプロダクトID・シリアルNoを入力し弊社サポートセンター(0120-225-862)までお電話をお願いいたします。

サポート担当者の指示に従いライセンスキーを入力し登録ボタンをクリックします。

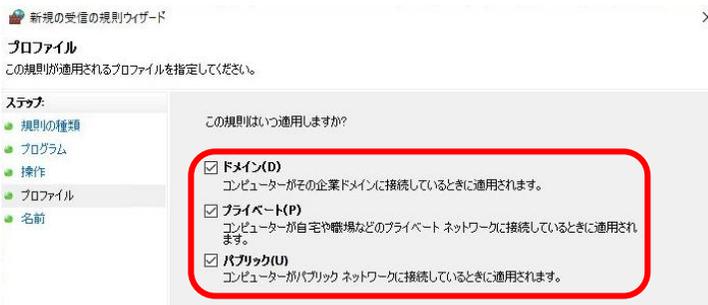
4 Windowsファイアウォールの設定

○Windows Server 2022、2019、2016の場合

- 1 [スタートメニュー] → [Windows 管理ツール]から[セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォール]を起動します。
※Windows 11の場合、[スタートメニュー] → [すべてのアプリ] → [Windows ツール] → [セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォール]から起動します。
- 2 セキュリティが強化された Windows ファイアウォールの設定画面で「受信の規則」を選択し「新しい規則」をクリックします。



- 3 「新規の受信の規則ウィザード」画面を以下の手順で設定します。
 - ・[規則の種類]で[プログラム]を選択し「次へ」をクリックします。
 - ・[プログラム]で[このプログラムのパス]を選択し「参照」ボタンから下記のプログラムを指定します。
SQL Server 2019の場合
C:¥Program Files¥Microsoft SQL Server¥MSSQL15.LETS¥MSSQL¥Binn¥sqlservr.exe
 - ・[操作]で[接続を許可する]を選択し「次へ」をクリックします。
 - ・[プロファイル]で[ドメイン][プライベート][パブリック]すべてにチェックが入っていることを確認し「次へ」をクリックします。



- ・[名前]で[名前]の項目に「SQL Server」と入力し「完了」をクリックします。

- 4 2の手順で再度「新規の受信の規則ウィザード」画面を起動します。

- 5 「新規の受信の規則ウィザード」画面を以下の手順で設定します。
 - ・[規則の種類]で[プログラム]を選択し「次へ」をクリックします。
 - ・[プログラム]で[このプログラムのパス]を選択し「参照」ボタンから下記のプログラムを指定します。
C:\Program Files(x86)\Microsoft SQL Server\90\Shared\sqlbrowser.exe
 - ・[操作]で[接続を許可する]を選択し「次へ」をクリックします。
 - ・[プロファイル]で[ドメイン][プライベート][パブリック]すべてにチェックが入っていることを確認し「次へ」をクリックします。
 - ・[名前]で[名前]の項目に「SQL Browser」と入力し「完了」をクリックします。

- 6 2の手順で再度「新規の受信の規則ウィザード」画面を起動します。

- 7 [規則の種類]で[ポート]を選択し「次へ」をクリックします。

- ・[プロトコルおよびポート]のTCPとUDPの選択で「TCP」を選択します。
- ・[プロトコルおよびポート]のすべてのローカルポートと特定のローカルポートの選択で「特定のローカルポート」を選択し、ポート番号に「1433」を入力します。

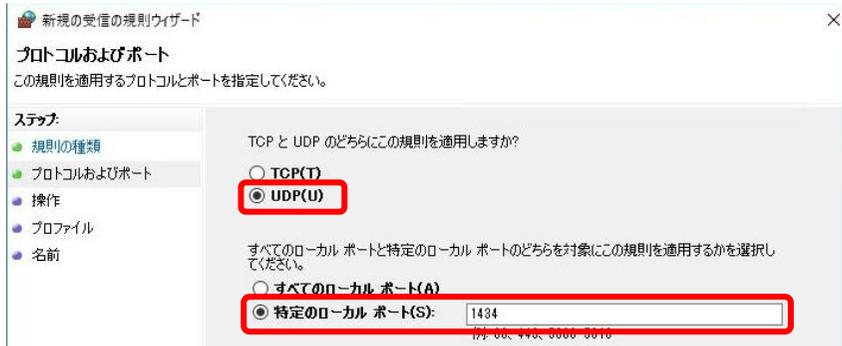


- ・[操作]で[接続を許可する]を選択し「次へ」をクリックします。
- ・[プロファイル]で[ドメイン][プライベート][パブリック]すべてにチェックが入っていることを確認し「次へ」をクリックします。
- ・[名前]で[名前]の項目に「TCP 1433Port」と入力し「完了」をクリックします。

サーバーのセットアップ

8 2の手順で再度「新規の受信の規則ウィザード」画面を起動します。

- ・[規則の種類]で[ポート]を選択し「次へ」をクリックします。
- ・[プロトコルおよびポート]のTCPとUDPの選択で「UDP」を選択します。
- ・[プロトコルおよびポート]のすべてのローカルポートと特定のローカルポートの選択で「特定のローカルポート」を選択し、ポート番号に「1434」を入力します。



- ・[操作]で[接続を許可する]を選択し「次へ」をクリックします。
- ・[プロファイル]で[ドメイン][プライベート][パブリック]すべてにチェックが入っていることを確認し「次へ」をクリックします。
- ・[名前]で[名前]の項目に「UDP 1434Port」と入力し「完了」をクリックします。

以上でWindowsファイアウォールの設定は完了です。

5 サーバーへユーザーの追加

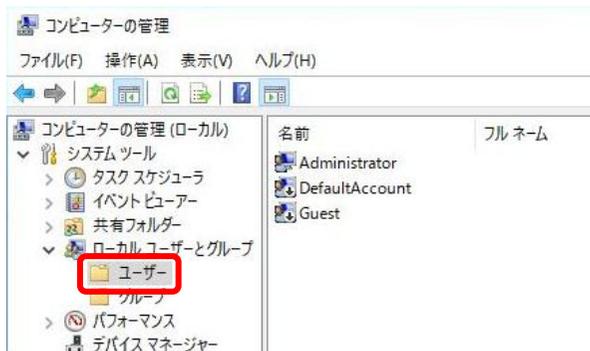
以下はWorkgroup環境の場合の設定です。

レッツ原価管理Go2を使用するクライアントPCのユーザーをサーバーに追加します。

- ・サーバーにログオン可能な場合、この作業は必要ありません。
- ・Active Directory環境の場合は、ドメインコントローラー上でユーザーの追加を行ってください。

1 [スタートメニュー] → [Windows 管理ツール] → [コンピューターの管理]を起動します。
 ※Windows 11の場合、[スタートメニュー] → [すべてのアプリ] → [Windows ツール] → [コンピューターの管理]から起動します。

2 コンピューターの管理画面の[システムツール] → [ローカルユーザーとグループ] → [ユーザー]を選択します。



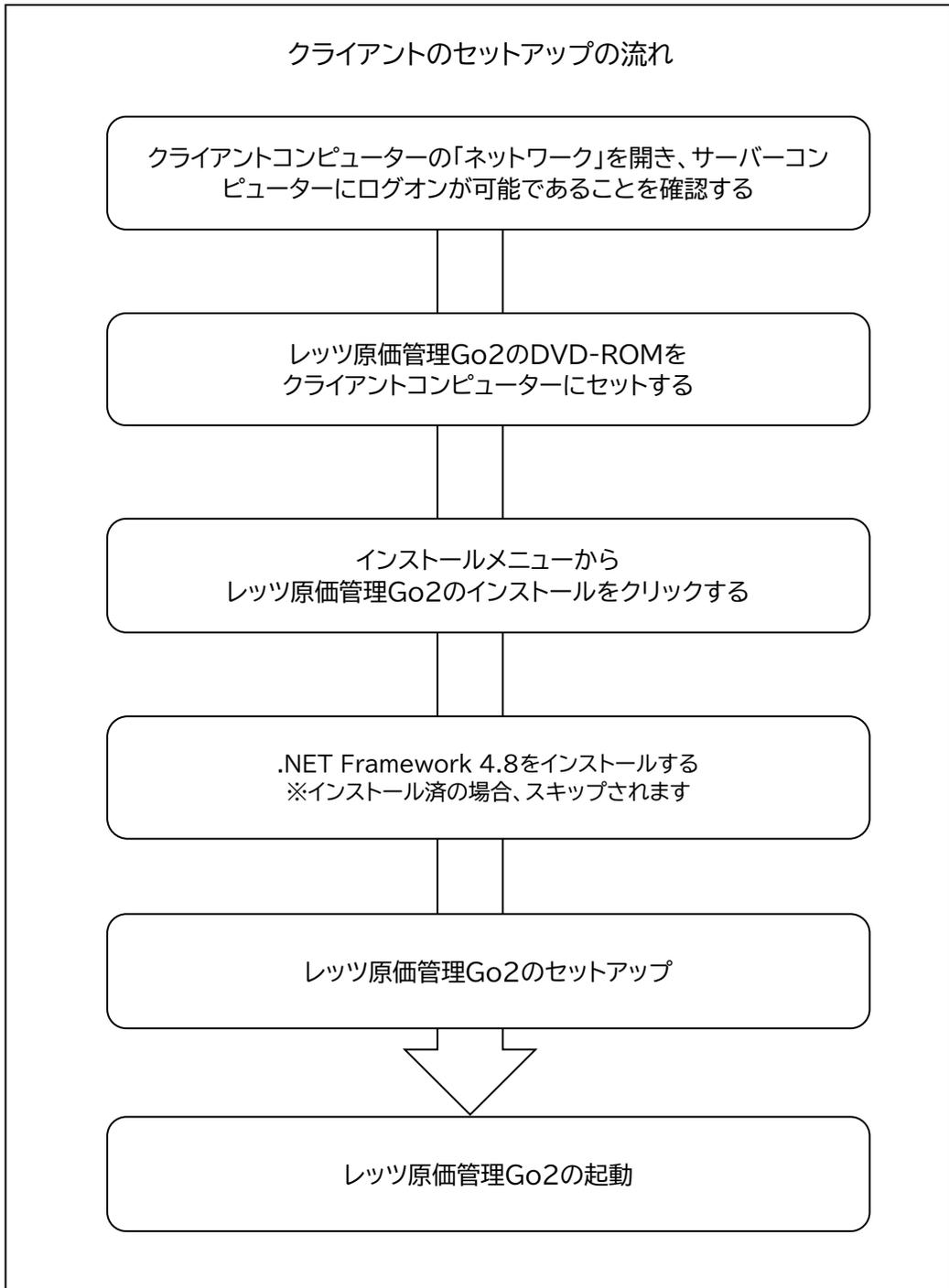
3 表示された画面右側に登録済のユーザー一覧が表示されるので、レッツ原価管理Go2を使用するユーザーが登録されていない場合は右クリックメニューの「新しいユーザー」をクリックします。

4 新しいユーザーの登録画面でユーザー情報を入力し「作成」ボタンでサーバーに登録します。

5 上記手順を使用するユーザー分繰り返します。

以上でユーザーの登録は完了です。

第3章 クライアントのセットアップ



1 インストール前の確認事項

1 ハードディスクの空き容量

インストール時には、ハードディスクの空き容量が400MB以上必要です。

2 ネットワーク

ネットワーク環境を確認してください。

⇒ 1-5 インストールの前に 5.ネットワーク環境の確認

クライアントコンピューターの「ネットワーク」を開き、
サーバーコンピューターにログオンが可能であることを確認してください。

3 インストールするユーザーの権限

管理者権限を持っているユーザーでインストールしてください。

4 サーバーのセットアップが完了していること

クライアントインストールの最中にサーバーを指定する必要があります。

サーバーのセットアップが完了していないとクライアントをインストールできません。

⇒ 2-1 サーバーのセットアップ

※インストールを行う前に確認してください。

- ・ネットワークにサーバーが表示されている。
- ・PINGコマンドが通る。
- ・サーバーにユーザー名・パスワードを登録している。
- ・エクスプローラーからサーバーにアクセスができる。

【注意】

インストール先のドライブまたはフォルダーが、読み取り専用や暗号化、圧縮されていないことを確認してください。

【WAN環境で使用する場合】

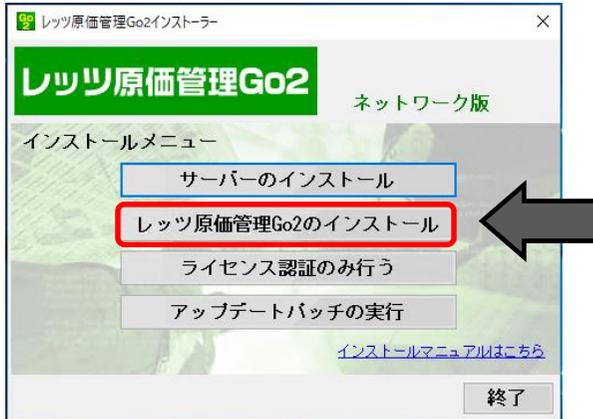
セットアップ方法は別冊「WAN環境で使用する場合のセットアップ」を併せてご確認ください。

2 レッツ原価管理Go2のインストール

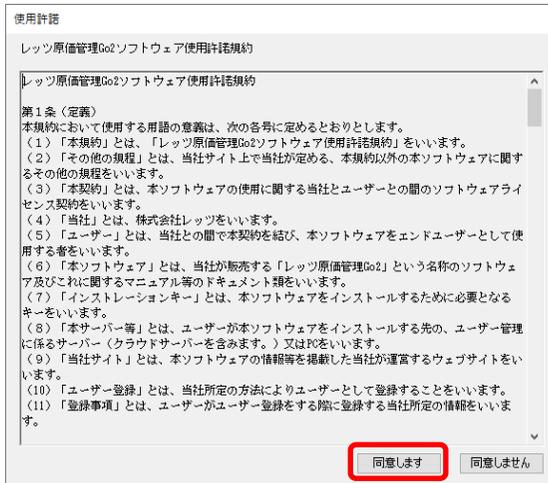
- 1 レッツ原価管理Go2のDVD-ROMをクライアントコンピューターにセットします。
インストール画面が表示されます。

⇒ 6-2トラブルシューティング 1 インストーラーが自動的に起動しない

- 2 「レッツ原価管理Go2のインストール」をクリックします。

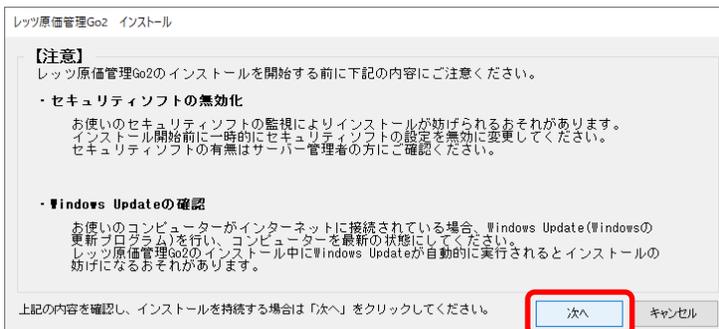


- 3 レッツ原価管理Go2の使用許諾規約画面が表示されます。
使用許諾規約内容を読み、同意いただける場合は「同意します」をクリックします。

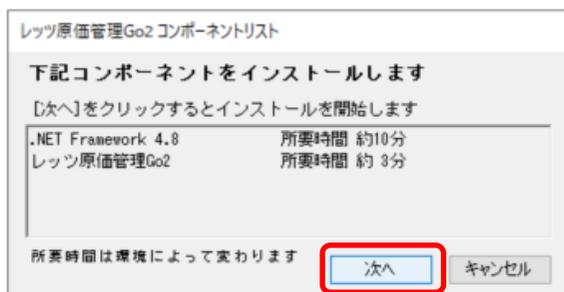


※同意しない場合、インストールはできません。

- 4 インストール開始前の注意メッセージが表示されます。
セキュリティソフトの無効化、Windows Updateの確認を行い「次へ」をクリックします。



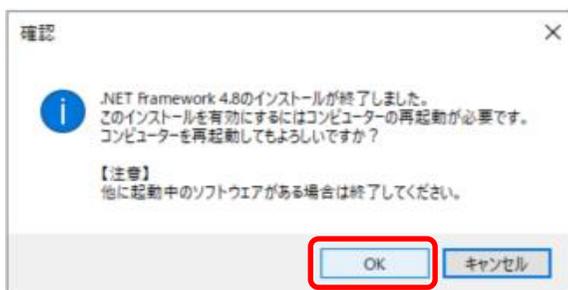
- 5 インストールされるコンポーネントのリストが表示されます。内容を確認して「次へ」をクリックします。



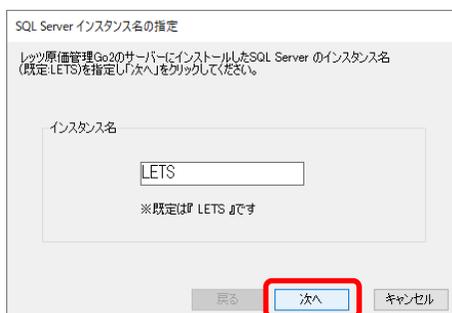
.NET Framework 4.8をインストールする場合、インストールが完了するまで10分程度かかる場合があります。

.NET Framework 4.8をインストールした場合、インストール完了後に再起動を求められますので、「OK」をクリックして再起動を行います。

再起動後、エクスプローラーを開き、レッツ原価管理Go2のDVD-ROMをセットしたドライブのアイコンを右クリックして、「開く」をクリックします。「setup」ファイルをダブルクリックして、再度「レッツ原価管理Go2のインストール」を行ってください。

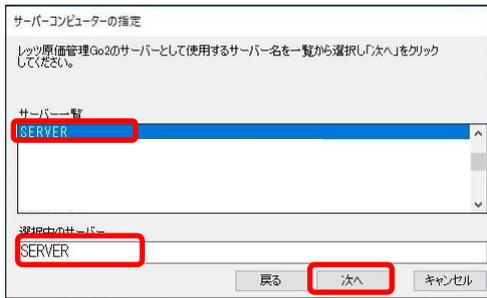


- 6 インスタンス名の指定画面が表示されます。サーバーのインストールの際(2-4.6)に指定したインスタンス名を入力してください。(既定:LETS)



クライアントのセットアップ

- 7 サーバーの指定画面が表示されます。サーバーの一覧に表示されているの中から、レッツ原価管理Go2用のサーバーの名前を選択し「次へ」をクリックします。



※表示されるコンピューター名は環境によって異なります。

※サーバー一覧にサーバー名が表示されない場合、以下の項目を確認してください。

- ①コンピューターがネットワークに接続されているか（LAN版の場合）
- ②前画面で指定したインスタンス名が正しいか
「選択中のサーバー」欄に直接サーバー名 または IPアドレス を入力することも可能です。
例)「LETS-PC」「192.168.100.123」

※サーバー選択時に「サーバーにアクセスできません」とメッセージが表示された場合、サーバー:パブリックのドキュメント¥LetsData2のプロパティの確認を行ってください。

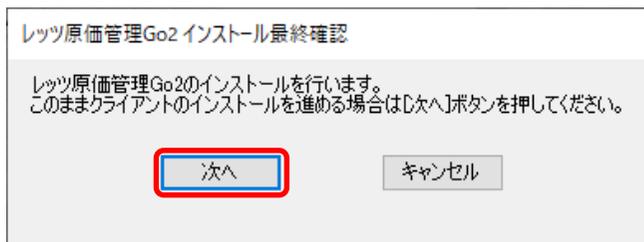
- ①セキュリティタブにEveryoneまたは ユーザーにフルコントロールが付与されているか
- ②共有タブ→詳細な共有→アクセス許可にEveryone または ユーザーにフルコントロールが付与されているか

クライアント:クライアントコンピューターの「ネットワーク」を開き、サーバーにログオンが可能であることを確認してください。

※「次へ」をクリックした直後にエラーが発生した場合は、サーバーの設定が不完全な可能性があります。サーバーの設定を再度ご確認ください。

⇒ 2-11 サーバーのセットアップ 5.サーバーへユーザーの追加

- 8 サーバーの選択後、レッツ原価管理Go2インストール最終確認画面が表示されます。インストールを行う場合は「次へ」をクリックします。



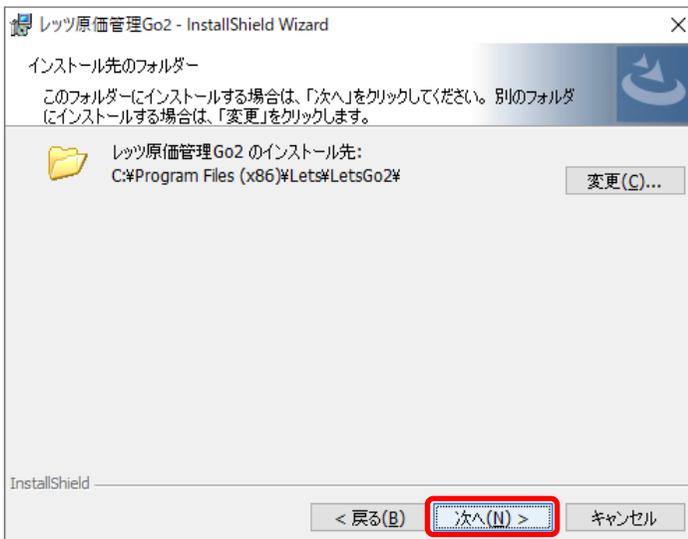
※「次へ」をクリックした直後エラーが発生した場合は、サーバーの設定が不完全な可能性があります。サーバーの設定を再度ご確認ください。

⇒ 2-11 サーバーのセットアップ 5.サーバーへユーザーの追加

- 9 レッツ原価管理Go2本体のインストールウィザード画面が開きます。「次へ」で進めます。

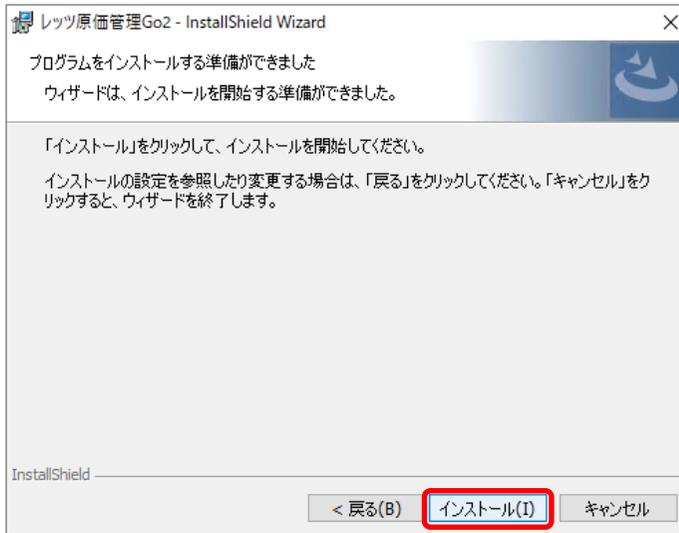


- 10 インストール先指定画面が表示されます。変更する場合は「変更」ボタンをクリックし、インストール先を指定します。「次へ」をクリックします。



クライアントのセットアップ

- 11 インストールの準備完了画面が表示されます。
「インストール」ボタンをクリックするとインストール処理が開始されます。



- 12 インストールが終了すると完了画面が表示されます。
「完了」ボタンでクライアントのインストールを終了します。



- 13 他のクライアントコンピューターにも上記の手順でインストールします。

以上でクライアントのインストールは終了です。

3 バックアップ

データのバックアップを必ずお取りください！

パソコンのトラブルで万が一データが壊れてしまった場合、バックアップデータがないと入力したデータはすべて失われてしまいます。
必ずデータのバックアップを行ってください。

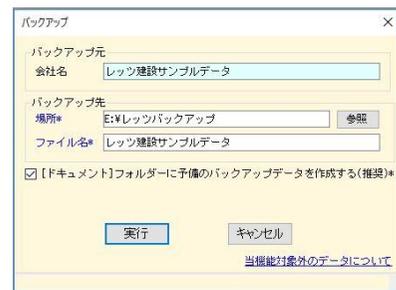
※他社製バックアップソフトの復旧作業はサポート出来かねますので、レッツ原価管理Go2標準のバックアップ機能をお使いください。

※レッツ原価管理Go2標準のバックアップデータがない場合およびバックアップデータ破損の場合、データ復旧が出来ない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

作業終了後には異常終了した場合を除いて必ずバックアップの操作を行ってください。

- 1 アイコンメニュー「補助」タブから「バックアップ」を選ぶとバックアップ画面が表示されます。

※「環境設定」→「基本設定」タブの「バックアップ」終了時にバックアップを実行する」にチェックしておくこと、本システム終了時に自動的にバックアップ画面が表示されます。



- 2 「バックアップ元」を確認の上、「バックアップ先」を指定します。
※「バックアップ先」は必ず本システムとは別のドライブを指定してください。
同一ドライブ・フォルダーを指定した場合の動作は保証いたしかねます。
- 3 「実行」を選ぶと処理を開始し、終了後、本システムに戻ります。

バックアップは毎日

せっかくバックアップデータがあっても、それが数ヶ月前というのでは意味がありません。バックアップは毎日必ず取りましょう。
またバックアップがうまく取れなかったり、異常なデータをバックアップしてしまったりする可能性もあるので、念のため複数のバックアップデータを持つことをお奨めします。

例:

USBメモリで偶数日と奇数日の二組
USBメモリとハードディスクの二組

※データに異常を感じたときは、別のメディアや別フォルダーにバックアップし、前回までの正常なバックアップデータを消さないようにしてください。

第4章 レッツ原価管理Go!からの移行

- 1 移行の流れ 4-2
- 2 データコンバート 4-2
- 3 データコンバート後の設定と確認 4-4

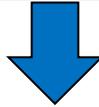
1 移行の流れ

レッツ原価管理Go2のインストールを行う

旧製品からの移行を実行する前に、あらかじめレッツ原価管理Go2のインストールを行っておきます。

※本マニュアル

第2章 サーバーのセットアップ・第3章 クライアントのセットアップを参照



データのコンバート(変換)を行う

旧製品のデータをレッツ原価管理Go2の形式にコンバート(変換)します。

2 データコンバート

■コンバート対象製品

レッツ原価管理Go!

※レッツ工事台帳Pro/Liteのデータは、レッツ原価管理Go2へ直接コンバートできません。
弊社にてデータをお預かりしコンバートいたします。

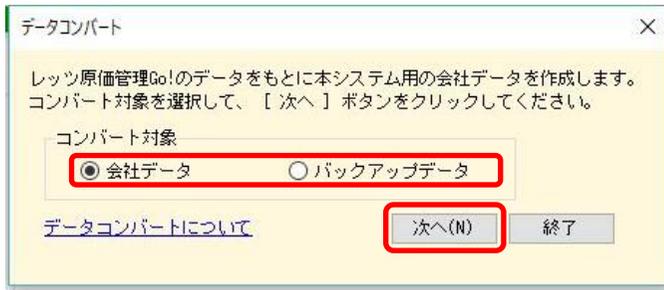
■コンバート手順

- 1.レッツ原価管理Go2を起動します。
- 2.補助>データコンバートをクリックします。
※メニューバーのファイル>データコンバートでも同じ画面が表示されます。



レッツ原価管理Go!からの移行

- 3.コンバートするデータの種類を[会社データ]または[バックアップデータ]から選択し[次へ]ボタンをクリックします。



[コンバート対象]の選択基準

会社データ

→レッツ原価管理Go!のサーバーとレッツ原価管理Go2のサーバーが同じ場合に選択

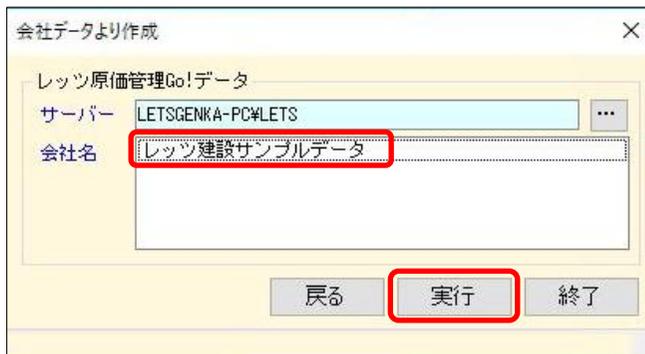
バックアップデータ

→レッツ原価管理Go!のサーバーとレッツ原価管理Go2のサーバーが異なる場合に選択

- 4.コンバートするデータを選択します。

<会社データを選択した場合>

コンバートする会社データを選択し[実行]ボタンをクリックします。



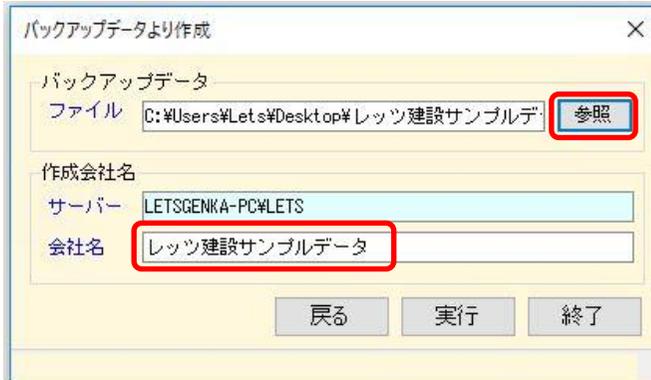
レッツ原価管理Go2で作成される会社名は、レッツ原価管理Go!と同じになります。変更できません。

<バックアップデータを選択した場合>

[参照]ボタンをクリックし、レッツ原価管理Go!のバックアップファイルを選択します。

[会社名]を任意に変更し[実行]ボタンをクリックします。

※会社名にはバックアップファイル名が自動セットされます。



- 5.コンバートの完了メッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。

3 データコンバート後の設定と確認

1.データコンバートでは以下のデータはコンバートされません。
レッツ原価管理Go2で再度設定が必要です。

- ・見積書・工事登録・各伝票の入力設定
- ・各集計表の集計条件
- ・メニュー色設定
- ・文字サイズ設定
- ・Excel書出の設定(テンプレート保存先パス・テンプレートファイル名・書出先)
- ・PDF/TXT書出先の設定
- ・前回ログインしたユーザー名 ※ユーザー管理をしている場合のみ
- ・バックアップファイル保存先の設定

2.帳票レイアウトのデータ移行

レッツ原価管理Go!で作成した帳票レイアウトのデータはコンバートされません。

レッツ原価管理Go!の帳票レイアウトを起動し、レイアウトを変更した帳票を選択の上
エクスポートします。

その後、レッツ原価管理Go2の帳票レイアウトを起動し、該当の帳票を選択の上
インポートします。

3.Excelテンプレートの移行

レッツ原価管理Go!で使用していたExcelテンプレートは移行されません。
レッツ原価管理Go!で使用していたパソコンから任意のフォルダーにコピーし、
レッツ原価管理Go2のExcel書出画面にてテンプレートの保存先を再設定します。

第5章 補足

1 クライアントの追加	5-2
2 クライアントの変更	5-2
3 サーバーコンピューターの変更	5-2
4 SQL Serverエディションの変更	5-3
1 現サーバーのエディションを変更する場合	5-3
2 別のサーバーコンピューターにあるSQL Serverに切り替える場合	5-3
5 アンインストール	5-4
1 レッツ原価管理Go2のアンインストール	5-4
2 ライセンス認証解除	5-4
3 データベース(レッツ原価管理Go2用インスタンス)の削除	5-8
6 個人設定保存／個人設定読込	5-10

1 クライアントの追加

- 1 追加するクライアント(ユーザー)をサーバーに追加します。
⇒ 2-11 サーバーのセットアップ 5.サーバーへユーザーの追加
- 2 クライアントをセットアップします。
⇒ 3-1 クライアントのセットアップ

2 クライアントの変更

クライアントコンピューターの故障や、アップグレードなどの為、別のコンピューターでレッツ原価管理Go2を使用する場合に実行します。

【旧コンピューターでの作業】

- 1 「個人設定保存」を実行します。
⇒ 5-10 個人設定保存
- 2 レッツ原価管理Go2をアンインストールします。
⇒ 5-4 補足 アンインストール

【新コンピューターでの作業】

- 3 新しいコンピューターにインストールします。
手順は、クライアントのインストールと同じです。
⇒ 3-1 クライアントのセットアップ
- 4 レッツ原価管理Go2を起動し、「会社選択」を開きます。
旧コンピューターで使用していた会社データを選択します。
- 5 「個人設定読込」を実行します。
⇒ 5-10 個人設定読込

3 サーバーコンピューターの変更

サーバーコンピューターの故障や、グレードアップなどの為、別のコンピューターをレッツ原価管理Go2のサーバーにする場合に実行します。

- 1 レッツ原価管理Go2のバックアップを取ります。
複数会社データがある場合はすべての会社データのバックアップを取ります。
【重要】バックアップがない場合、新サーバーにデータを引き継ぐことはできません。
- 2 旧サーバーでライセンス認証解除を行います。
⇒ 5-4 ライセンス認証解除
- 3 新しいサーバーコンピューターにデータベースをインストールします。
手順は、サーバーのセットアップ手順と同じです。
⇒ 2-1 サーバーのセットアップ、2-6 ライセンス認証
- 4 クライアントでレッツ原価管理Go2を起動し、「会社新規作成」を開きます。
サーバー選択で新しいサーバーを選択し、新規に会社を作成します。
- 5 新しく作った会社データに1で作ったバックアップデータを復帰させます。
(複数の会社データがある場合は4の作業を繰り返し、すべて復帰させます)
- 6 旧サーバーより、データベースを削除します。
⇒ 5-8 補足 データベース(レッツ原価管理Go2用インスタンス)の削除

4 SQL Serverエディションの変更

SQL Serverを上位エディションに変更する方法です。データ量が多く処理時間が長くなる場合やクライアント数が多い場合には、サーバーコンピューターのアップグレードとともにSQL Server 2019 Expressエディションより上位エディションの使用をご検討ください。

1 現サーバーのエディションを変更する場合

- 1 安全の為、レッツ原価管理Go2のバックアップを取ります。
複数会社データがある場合はすべての会社データのバックアップを取ります。

【重要】バックアップがない場合のデータリカバリは対応できません。

- 2 SQL Server 2019 のセットアップ手順により上位エディションをインストールします。
レッツ原価管理Go2で使用するインスタンスを上位エディションに変換します。(既定:LETS)
(詳細は、SQL Server に添付の説明をご覧ください)

※クライアントコンピューターでの処理設定の変更はありません。
継続して使用できます。

2 別のサーバーコンピューターにあるSQL Serverに切り替える場合

- 1 旧サーバーでレッツ原価管理Go2のバックアップを作成します。
 - ・ 一台のクライアントコンピューターでレッツ原価管理Go2を起動後「ファイル」→「バックアップ」からバックアップファイルを作成します。(会社データ領域が複数存在する場合は、すべての会社データ領域からバックアップファイルを作成します)

【重要】バックアップがない場合、新サーバーにデータを引き継ぐことはできません。

- 2 旧サーバーでライセンス認証解除を行います。
⇒ 5-4 ライセンス認証解除
- 3 新サーバーコンピューターのセットアップを行います。
⇒ 2-1 サーバーのセットアップ、2-6 ライセンス認証
- 4 新サーバーに会社データ領域を作成します。
 - ・ 一台のクライアントコンピューターでレッツ原価管理Go2を起動後「会社新規作成」からサーバー選択で新サーバーを選択し、新規に会社データ領域を作成します。
- 5 新しく作った会社データ領域に1で作成したバックアップを復帰させます。
 - ・ 一台のクライアントコンピューターでレッツ原価管理Go2を起動後「ファイル」→「データ復帰」から1.で作成したバックアップファイルを復帰します。(複数の会社データがある場合は4の作業を繰り返し、すべて復帰させます)
- 6 他のクライアントコンピューターの会社データ領域を切り替えます。
 - ・ 他のクライアントコンピューターでレッツ原価管理Go2を起動後「ファイル」→「会社選択」から新サーバーを選択し、会社データ領域を切り替えます。

※ クライアントコンピューターの会社データ領域を切り替えずに旧サーバーのデータベースインスタンスを削除すると、起動時に「データベースのバージョンが確認できませんでした」というメッセージが表示されます。必ずクライアントコンピューターの会社データ領域を切り替えてから、次の手順に進んでください。

7 旧サーバーより、レッツ原価管理Go2用のデータベースインスタンスを削除します。

⇒ 5-8 補足 データベース(レッツ原価管理Go2用インスタンス)の削除

※ SQL Server 2019で作成した会社データのバックアップファイルをSQL Server 2019より古いバージョンのSQL Serverにデータ復帰することは出来ません。

5 アンインストール

レッツ原価管理Go2をご使用されなくなった場合以下の処理を行ってください。

- 1 レッツ原価管理Go2のアンインストール5-4
- 2 ライセンス認証解除を行う5-4
- 3 データベース(レッツ原価管理Go2用インスタンス)の削除5-8

1 レッツ原価管理Go2のアンインストール

クライアントコンピューターからレッツ原価管理Go2プログラムを削除します。
管理者権限のあるユーザーでログインしている状態で行ってください。

【メモ】会社データは削除されません。会社データの削除は、レッツ原価管理Go2プログラムの「会社データ削除」機能、もしくはP.5-8「データベースの削除」でおこないます。
※データベースの削除を行った場合、インスタンスに存在する全ての会社データが削除されます。

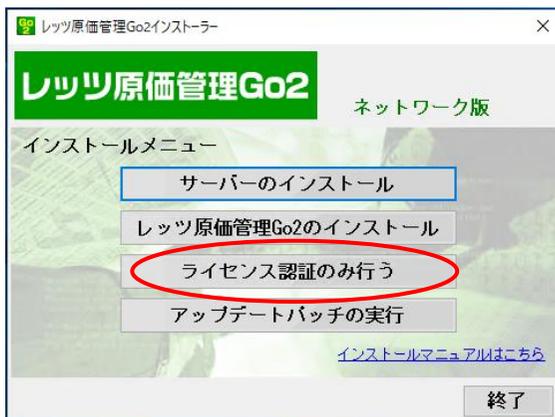
<DVD-ROMを使用しない場合>

- 1 「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」を開きます。
- 2 表示されたプログラムの一覧から「レッツ原価管理Go2」を選択し、「アンインストール」を実行します。

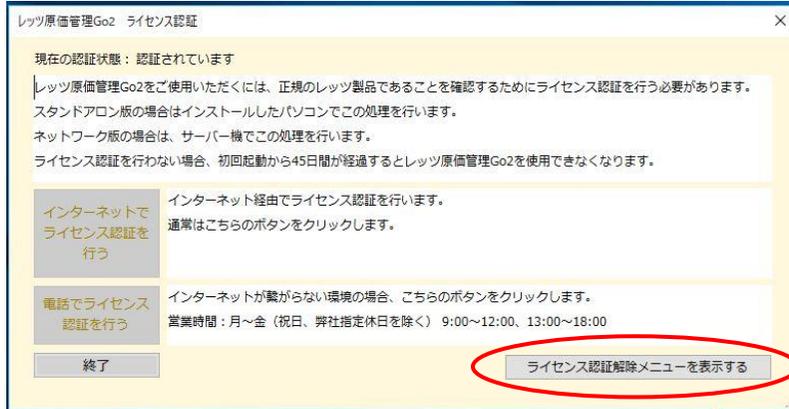
2 ライセンス認証解除

サーバーコンピューターにてレッツ原価管理Go2のライセンス認証情報を解除します。
管理者権限のあるユーザーでログインしている状態で行ってください。

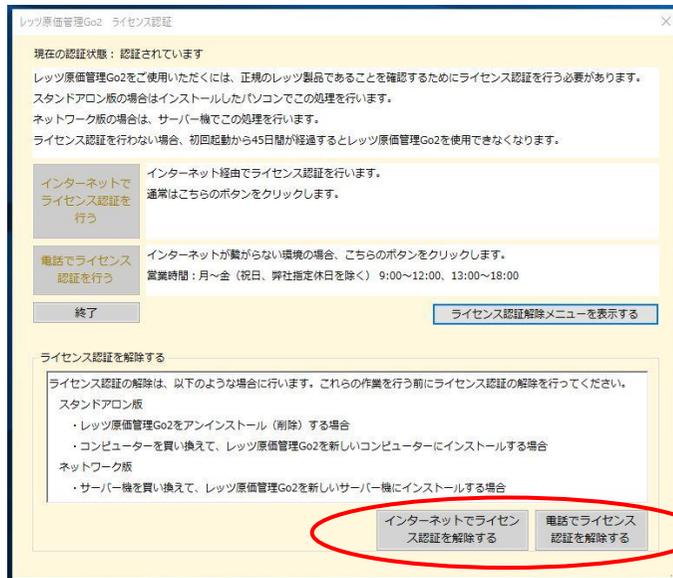
- 1 レッツ原価管理Go2のインストールDVD-ROMをセットします。
- 2 「ライセンス認証のみ行う」をクリックします。



3 「ライセンス認証解除メニューを表示する」をクリックします。



4 「インターネットでライセンス認証を解除する」「電話でライセンス認証を解除する」のどちらかのボタンをクリックしライセンス認証解除を行います。



<インターネットでライセンス認証を解除する>場合

以下の画面が開きます。

「解除」ボタンをクリックします。

インターネットで認証解除

インターネットを使用してライセンス認証解除を行います。

認証ID:

プロダクトID:

シリアルNo.:

① 「解除」ボタンを押してください。

※プロキシサーバー経由でインターネット接続をされている方は右側のプロキシサーバー情報を設定してから「解除」ボタンを押してください。

プロキシサーバー

プロキシサーバーを使用する

アドレス:
(例: xxxxxxxx.xxxxxx)

ポート:
(例: 8080)

ユーザー名:
(必要時)

パスワード:
(必要時)

<電話でライセンス認証を解除する>場合

以下の画面が開きます。

弊社サポートセンター(0120-225-862)までお電話いただき解除キーを発行します。

サポート担当者の指示に従い解除キーを入力し解除ボタンをクリックします。

解除ステータスをサポート担当者にお伝えいただき

電話担当者に「解除ステータス」を伝えました。にチェックを入れて

閉じるボタンをクリックします。

電話で認証解除

インターネットを使わずに電話でライセンス認証解除を行います。

認証ID:

プロダクトID:

シリアルNo.:

① 0120-225-862 に電話して「電話でのライセンス認証解除」を依頼してください。
その後、電話担当者から聞いた「解除キー」を次のボックスに入力します。

解除キー:

② 次の「解除」ボタンを押してください。

解除

解除ステータス:

③ 上で表示された「解除ステータス」を電話担当者に伝えてください。

電話担当者に「解除ステータス」を伝えました。

閉じる

使用していたコンピューターが故障で起動しない等でライセンス認証解除ができない場合は、弊社サポートセンター(0120-225-862)までご連絡ください。

※電話対応にてライセンス認証を解除いたします。

3 データベース(レッツ原価管理Go2用インスタンス)の削除

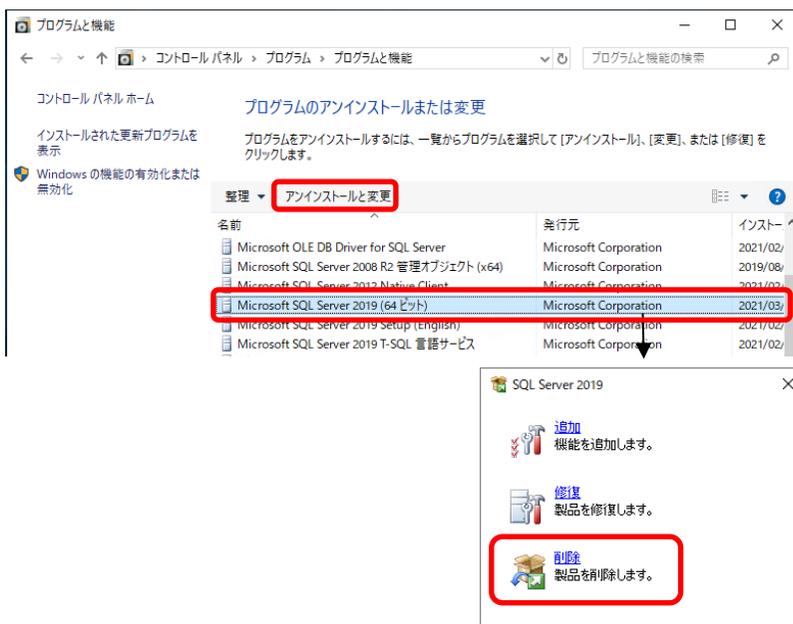
サーバーコンピュータ上のデータベースからレッツ原価管理Go2で使用しているインスタンスを削除します。
管理者権限のあるユーザーでログインしている状態で行ってください。

【重要】

- ・ インスタンスを削除すると、レッツ原価管理Go2用にデータベースに保存されているすべてのデータが削除され、元に戻すことはできません。
インスタンスを削除する前にバックアップを作成し、そのバックアップファイルで正常に復帰できることを確認してください。
- ・ SQL Server 2019に他のソフトウェアのインスタンスが存在する場合があります。
誤って他のインスタンスを削除しないようご注意ください。削除してしまった場合のデータ復旧は弊社ではサポートできかねますのであらかじめご了承ください。

以下の操作はサーバーコンピュータで行います。

- 1 レッツ原価管理Go2を使用しているクライアントコンピュータがあればすべて終了します。
- 2 レッツ原価管理Go2用インスタンスの削除
 - ①「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」を開きます。
 - ②表示されたプログラムの一覧から「Microsoft SQL Server 2019」を選択します。
「アンインストールと変更」ボタンをクリックします。



処理の内容は「削除」を選択します。

- ③「OK」をクリックし進めます。

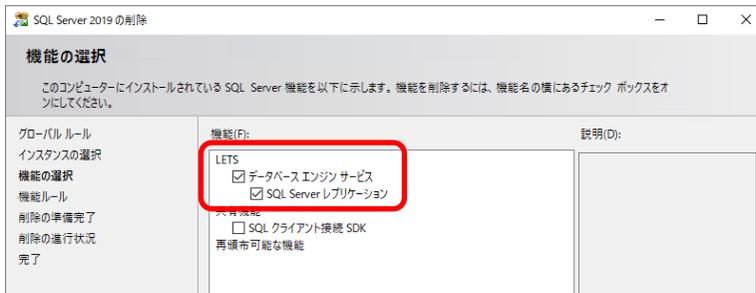
補足

- ④「インスタンスの選択」で削除するインスタンス名 ※1 を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

※1 インストール時に指定した任意のインスタンス名(既定:LETS)

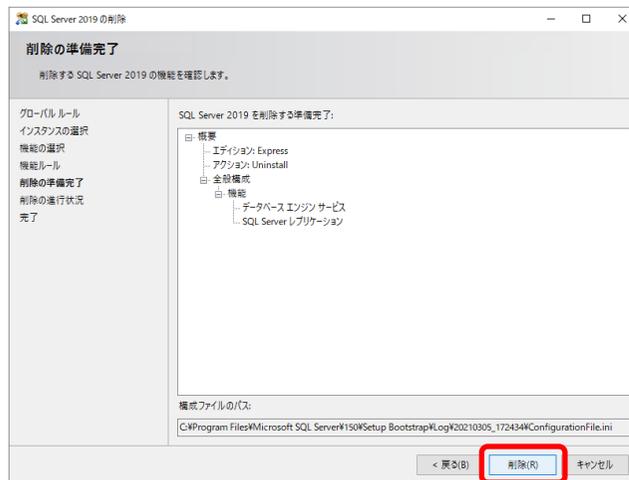


- ⑤「機能の選択」で「データベースエンジンサービス」と「SQL Serverレプリケーション」にチェックを入れ「次へ」をクリックします。



- ⑥「OK」をクリックし進めます。

- ⑦「削除」をクリックします。



- ⑧インスタンスの削除が実行されます。

以上でデータベースの削除は終了です。

※ インスタンスをすべて削除するとSQL Server 2019も一緒に削除されます。

※ SQL Server 2019をアンインストールした後、SQL Server 2008 R2 管理オブジェクト、SQL Server 2019 T-SQL 言語サービス、SQL Server 2019 セットアップ(日本語)のアンインストールを行ってください。
(他のアプリケーションでSQL Serverを使用している場合、この処理は行わないでください)

6 個人設定保存／個人設定読込

クライアントごとに保持されている設定情報などをファイルに保存・読込する機能です。
クライアントPCの入れ替え時に設定を引き継ぎたい場合に使用します。

■保存対象の設定項目

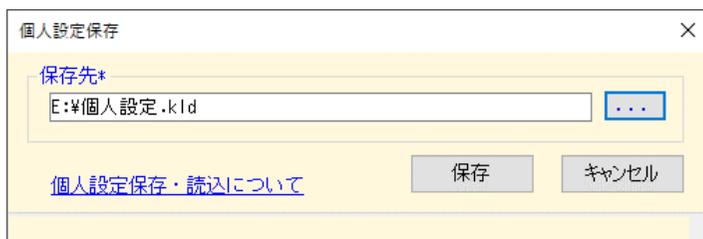
- ・集計条件
- ・表示項目の設定
- ・各伝票の入力設定
- ・Excel書出の設定情報(テンプレートの場所、最終選択ファイル名)
- ・帳票レイアウトで変更・修正した印刷レイアウト
- ・PDF出力、TEXT書出の出力先
- ・その他設定情報(文字サイズ、画面サイズ等)

【重要】

Excel書出のレイアウト編集を行っている場合、変更したテンプレートファイルは保存されません。
別途共有フォルダなどを使って新PCに移動する必要があります。

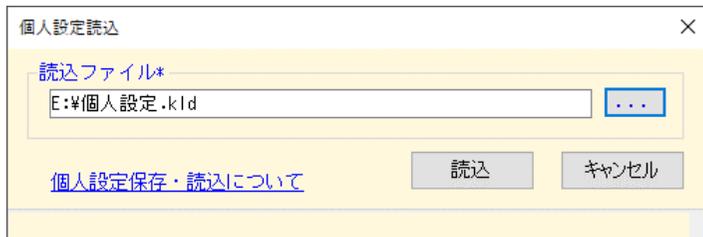
1 個人設定保存

- 1 旧PCのレッツ原価管理Go2からメニューバーの「ファイル」→「個人設定保存」を開きます。
- 2 「…」からファイルの保存先、ファイル名を指定して「保存」を押すと設定ファイルが保存されます。
- 3 保存された設定ファイルを共有フォルダなどを使って新PCに移動します。



2 個人設定読込

- 1 新PCのレッツ原価管理Go2からメニューバーの「ファイル」→「個人設定読込」を開きます。
- 2 「…」からファイルの保存先、ファイル名を指定して「読込」を押すと設定ファイルが読込されます。



第6章 トラブルシューティング

- 1 インストール前のトラブル 6-2
- 2 サーバーのセットアップ時のトラブル 6-3
- 3 クライアントのセットアップ時のトラブル 6-5

1 インストール前のトラブル

1 インストーラーが自動的に起動しない

レッツ原価管理Go2のインストールDVD-ROMをコンピューターに挿入してもインストーラーが自動で起動しない場合、下記の手順でインストーラーを手動で起動してください。

- 1 エクスプローラーを表示します。
Windows11/10の場合、デスクトップを表示してタスクバーの
[エクスプローラー]ボタンをクリックします。
- 2 レッツ原価管理Go2のDVD-ROMをセットしたドライブのアイコンを右クリックして
表示されるメニューから[開く]をクリックします。
- 3 [setup]ファイルをダブルクリックします。

2 サーバーとクライアントのネットワークが繋がらない

下記の内容をご確認ください。

周辺機器関連

- ・HUBの電源は入っていますか？
- ・LANケーブルは正しく接続されていますか？
→LANコネクタのランプが点灯しているか確認してください。

ネットワークの設定

- ・TCP/IPなどのネットワーク設定は完了していますか？
- ・TCP / IP V4が動作していますか？
- ・IPアドレスが重複していませんか？
→PCを起動した時に「ネットワーク上の別のシステムと競合しているIPアドレス
があります」と表示される場合はIPアドレスが重複している可能性があります。
- ・サーバーへのアクセス権限はありますか？
→サーバーのLetsData2にアクセスできるか確認してください。
- ・PINGコマンドは通りますか？
- ・同一セグメントに属していますか？

その他設定

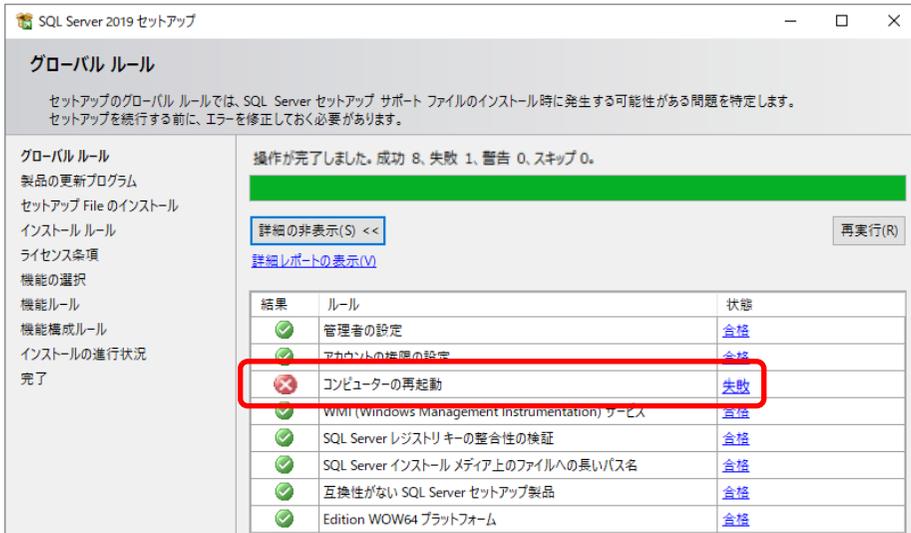
- ・ルーターの設定で、遮断されていませんか？
- ・ファイアウォールの設定で遮断されていませんか？
- ・セキュリティソフトの設定で遮断されていませんか？

2 サーバーのセットアップ時のトラブル

1 .NET Framework 4.8のインストール時に「プログラムを自動的に閉じますか？」と確認メッセージが表示された

「いいえ」でメッセージを進めてください。
パソコンの再起動が必要となる場合がありますので、指示に従い再起動を行ってください。
再起動後、再度レッツ原価管理Go2のインストールを行ってください。

2 SQL Serverのインストール時に、セットアップ グローバル ルール画面で「コンピューターの再起動(RebootRequiredCheck)」が失敗と出た



- ・サーバーを再起動後、再度インストールを実行してください。
それでも現象が解消しない場合、お手数ですが弊社までご連絡ください。

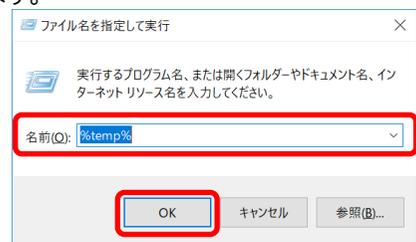
3 SQL Serverのインストール失敗または中断し、再度インストールする際の注意点

- ・tempフォルダ内のletsgo2_temp_instancename.ini(インストール途中にしか残らないファイル)を削除してから再度SQL Serverのインストールを行ってください。

- ・tempフォルダの開き方

1. デスクトップ画面でWindowsキー+Rキーを押します。

2. [ファイル名を指定して実行]が表示されますので[%TEMP%]と入力し、[OK]ボタンを押します。



4 サーバー名の変更

【重要】

- ・一般的に、サーバー名を変更するとネットワーク全体に不具合が生じる恐れがあります。クライアントのサーバー使用状況を確認してから作業を行ってください。
- ・サーバーのインストール終了後に、サーバー名を変更すると、クライアントからSQL Serverにアクセスできなくなりレッツ原価管理Go2が使用できなくなります。
- ・他にインストールしているアプリケーションでSQL Serverを使用している場合、サーバー名を変更して不具合が生じる恐れがあります。他のアプリケーションで使用しているか確認を行ってから作業を行ってください。
- ・この作業を行ってネットワークおよび他のアプリケーションの動作に不具合が生じても弊社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

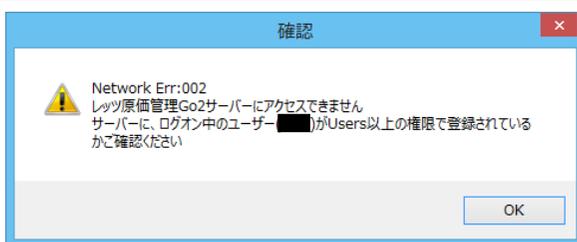
- ・サーバー名の変更は、次の手順で行ってください。
- ① クライアントでレッツ原価管理Go2のバックアップを行います。
※会社領域が複数ある場合、すべてバックアップをお取りください。
- ② サーバーの”SQL Server2019”をアンインストールします。
(既定のインスタンス名『LETS』)
- ③ サーバーのコンピューター名を変更します。
- ④ サーバーにレッツ原価管理Go2のインストールDVD-ROMからサーバーインストールを再度行います。
- ⑤ クライアントでレッツ原価管理Go2を起動するとエラーがでるので「OK」をクリックします。
- ⑥ クライアントで新規会社作成ボタンをクリックし、[...]ボタンで新しいサーバーを選択し会社データを作成します。
- ⑦ 作成された新しい会社データに、①のバックアップデータを復帰します。
- ⑧ 他にクライアントがある場合、1度エラーが表示された後に会社選択をクリックし、サーバーと⑥で作成した会社データを選択します。

3 クライアントのセットアップ時のトラブル

1 .NET Framework 4.8のインストール時に 「プログラムを自動的に閉じますか？」と確認メッセージが表示された

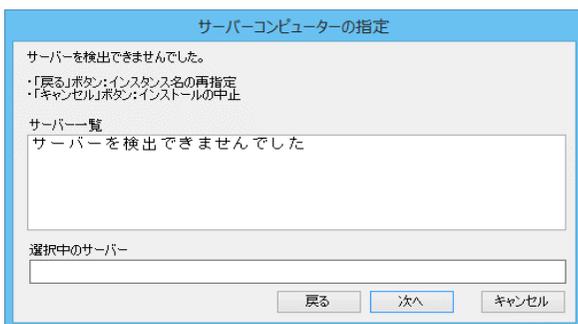
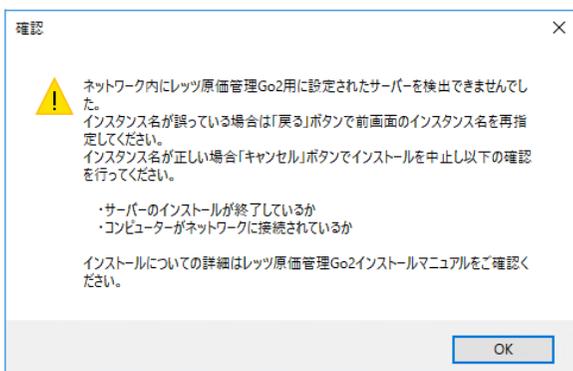
「いいえ」でメッセージを進めてください。
パソコンの再起動が必要となる場合がありますので、指示に従い再起動を行ってください。
再起動後、再度レッツ原価管理Go2のインストールを行ってください。

2 クライアントのセットアップ時、サーバー選択画面で 「次へ」を押すと、下記のメッセージが表示された



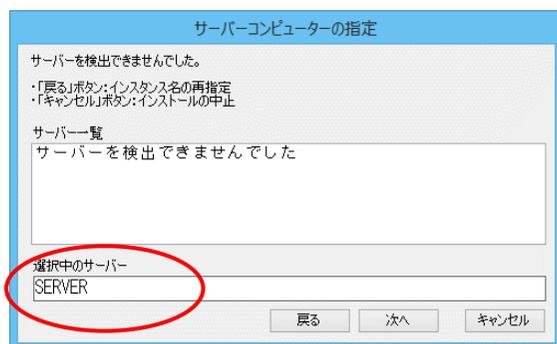
- ・エクスプローラーからサーバーにアクセスできるか確認します。
- ・サーバーでのユーザー登録をしていない、または失敗している可能性があります。
サーバーへユーザーを登録してください。
⇒ 2-11 サーバーのセットアップ 5.サーバーへユーザーの追加

3 クライアントのセットアップ時、サーバー選択画面で下記のメッセージが表示された



- ・SQL Serverのインスタンス名が正しいか確認します。
誤っている場合は、「戻る」ボタンをクリックして、正しいインスタンス名を再度指定します。
- ・SQL Serverのインストールが失敗している可能性があります。
次頁の「レッツ原価管理Go2起動時に「サーバーへ接続できません」とメッセージが表示された」を参考にして、構成マネージャの状態を確認してください。
- ・サーバーコンピューターがネットワークに接続されているか確認します。

いずれも問題がない場合は、以下のように選択中のサーバーの所に、サーバー名(またはIPアドレス)を入力し、「次へ」を押してください。
例)「SERVER」または「192.168.100.123」



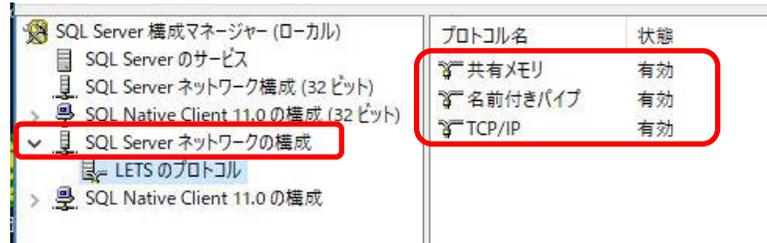
※サーバー名(またはIPアドレス)の前後に「¥¥」およびインスタンス名は不要です。

サーバー名(またはIPアドレス)のみ入力してください。

4 レッツ原価管理Go2起動時に、「サーバーへ接続できません」とメッセージが表示された

下記の点をご確認ください

- 1 サーバーに、クライアントの現在のログオンユーザーが登録されていない（LAN環境の場合）
⇒ 2-11 サーバーのセットアップ 5.サーバーへユーザーの追加
- 2 サーバーに、例外プログラムおよびポートの設定が行われていない（LAN環境の場合）
⇒ 2-8 サーバーのセットアップ 4.Windowsファイアウォールの設定
- 3 サーバーのレッツ原価管理Go2用の共有フォルダーのアクセス権の設定が不足している
サーバー:パブリックのドキュメント¥LetsData2のプロパティの確認を行ってください。
①セキュリティタブにEveryone または ユーザーにフルコントロールが付与されているか
②共有タブ→詳細な共有→アクセス許可にEveryone または ユーザーにフルコントロールが付与されているか
- 4 SQL Serverのsaパスワードが間違っている(任意のsaパスワードを指定した場合)
SQL Serverのインストール時、任意のsaパスワードを指定した場合は、その指定したsaパスワードをレッツ原価管理Go2で設定する必要があります。
① 会社新規作成や会社選択画面にある「…」ボタンをクリック
② サーバー選択画面にある「詳細設定」を開き、SQL Serverのインストール時に指定したsaパスワードを設定します。
- 5 SQL Server 2019 が停止している
SQL Server 2019 の起動状態を確認します。
 - ① 「スタートメニュー」→「すべてのプログラム」→「Microsoft SQL Server 2019」→「SQL Server 2019 構成マネージャー」を開きます。
※Windows 11の場合、「すべてのプログラム」は「すべてのアプリ」と表示されます。
 - ② 「SQL Server ネットワークの構成」下「***のプロトコル」※1 を選択し、「共有メモリ」「名前付きパイプ」と「TCP/IP」の状態のいずれかが「無効」の場合、右クリックメニューの「有効化」を選択し状態を[有効]にしてください。



- ③ 「SQL Serverのサービス」を選択し、「SQL Server(****)」※1と「SQL Server Browser」の「状態」が「実行中」であることを確認します。「停止」になっている場合は右クリックメニューで「開始」してください。



※1にはサーバーのセットアップ時に設定したインスタンス名が表示されます。初期値は「LETS」が入力されています。

※「SQL Server エージェント」は停止状態で問題ありません。

Memo

レッツ原価管理Go2

インストールマニュアル
(ネットワーク版)

初 版 2017年8月17日

第12版 2025年4月9日

発行者 株式会社レッツ
〒989-6106 宮城県大崎市古川幸町1丁目6-12

・本書の内容に関しては、訂正・改善のため、予告なしに変更することがございます。

LET'S